

# ワシントン大学短期留学

基礎学習開発専攻 2年 西方英希

## 留学体験記

今回のワシントン大学短期留学は私にとってとても貴重な経験となりました。私にとって今回が初めての海外渡航ということもあり、外国人としっかりコミュニケーションが取れるかといったことや異文化に自分が対応できるかなど、不安は多かったのですが、実際にアメリカのシアトルでの生活をすることによってそういった不安は解消され、むしろ外国人とのコミュニケーションや日本とは違う文化を楽しむことができました。

まずシアトルに行くと、ホームステイ先の家族との顔合わせがありました。自分のホームステイ先はアメリカ人の両親と16歳の中国人の留学生という家族構成でした。ホームステイ先の家族は自分を温かく歓迎してくれてスムーズにアメリカでの生活に慣れていくことができました。自分のホームステイでは夕食の際、一緒に食事をするのはもちろん料理や後片付けも家族全員で行いました。その間、家族と日本やアメリカ、中国のことやその日にあったことなどについて会話を楽しみました。また夕食後も家族全員でテレビを見ながら会話をしたりして一緒にいる時間を楽しみました。両親が用事でいない日も中国人の留学生と一緒に夕食を取ってスポーツについて会話したり、愚痴を聞いてくれたりととても楽しい時間を過ごすことができました。私はホームステイ先の家族と多くの時間を過ごしてみてこの家族と一緒にいる時間を大切にするという考え方は日本と比べて、アメリカの方が強く日本とは少し違う文化であり、日本に帰ってからもこの考え方を大事にしていこうと感じました。

学校はシアトル市内にあるワシントン大学に通い、外国人向けの語学プログラムに参加しました。英語力によってクラス分けもされており、自分に合ったレベルで英語力をアップさせることができました。また、放課後の課外研修にも積極的に参加し、シアトル市内にある様々な施設に見学に行きアメリカの歴史や文化について学ぶことができました。

課外研修がない日は、友達とシアトルを観光し、様々な建造物や観光名所に行ってみたり、週末にはバスでカナダのバンクーバーも観光しました。様々なところを観光してみて街や自然の景観や、食べ物などが様々な点で日本とは違っており、どれも新鮮なものばかりでした。私が印象に残っているのは景色です。シアトルやバンクーバーは日本にはあまりない独特な地形をしており、街

並みや海の景色や夜景が素晴らしく、とても感動しました。また観光する中で現地の人と会話をして仲良くなることができました。

これらのように今回のワシントン大学短期研修で様々な人とコミュニケーションをとったり、ワシントン大学での授業で日本とは違う文化について触れることができましたし、自分の語学力も飛躍的にあげることができたと思います。これからも今回も、シアトルで学んだことを生かして語学の能力や異文化についての知識を深めていきたいと思います。



(短期留学中の日々より)

## 短期留学をする人に向けて

今後、留学を目指す人へ今回の経験をもとに自分なりにアドバイスしたいと思います。自分がこの短期留学で感じたのは外国で英語力を伸ばすためにはホームステイ先の家族や街の人との会話など学校以外での外国人とのコミュニケーションが大切だということです。確かに留学先の学校の授業をしっかり受けるということも大切ですが学校の授業中ではどうしても英語を話す機会には限界があり、授業の大半はリスニングになってしまいます。学校以外で外国人と会話する場合はスピーキングとリスニングをバランスよく、かつ実践的に鍛えることができます。ですので留学する際はホームステイ先の家族との時間や、街の人との会話を大切にしてください。

またそのための心構えについても自分なりにアドバイスしたいと思います。外国人とのコミュニケーションする際に最初は緊張すると思います、特にホームステイ先でも最初は戸惑うことでしょう。それでも根気強さが重要だと思います。ですので英語が出てこなくても電子辞書片手に粘り強くコミュニケーションをとってみてください。そうすればコミュニケーションもいずれうまくいき、より充実した海外生活が送れると思います。



(

